



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第36号

平成27年5月7日発行

さ ょ う



笑顔いっぱい

もくじ

- ・平成27年度当初予算決まる
税金の使い道、予算はどう議論されたか？2
- ・一般質問 10人の議員が斬りこむ.....11
- ・**合併後初の議会報告会開催**22
- ・定住、人口減少対策をテーマに行政視察24
- ・議会報告会 開催のご案内裏表紙

平成27年度当初予算可決

人口減少対策を最重要課題に

一般会計 131億4,383万円
特別・企業会計 82億7,700万円

平成27年度は合併10周年の節目の年となります。地方創生に向け人口減少問題を最重要課題に位置付け、子育て支援事業など新たな施策を盛り込んだ予算編成を評価し、一般会計では歳入歳出それぞれ131億4,383万円の予算を決定しました。

本予算案は住民の切実な願いに応え、学校給食費の半額助成や地元産食材の使用拡大、保育料の第2子以降無料化などを評価できる。

国は支所経費などを交付税に算定し、削減額が緩和される見通しだ。基金は町民の暮らしを守るために財源として有効に活用すべきだ。町民の負担軽減、暮らし応援、子育て支援、農林商工業振興、児童・生徒への副教材費

平成27年度予算

反対討論
平岡きぬゑ 議員
本予算案は住民の切実な願いに応え、学校給食

興に不十分な予算である。
住民意の町政運営を求める。

賛成討論
小林裕和 議員

前年比
6%（77,41円）引き上げた。

国民健康保険税は3年前、平均10%（1万3876円）引き上げ、昨年

1条で「社会保障及び国民保健」のための制度で創生を前面に出し、人口減少対策・子育て支援を重点に編成している。仕事と子育てが両立できるよう第2子以降の保育料の無料化、子育て支援と商工業者支援を併せ持つ

向に改修する住環境整備、利神城跡の保存と史跡の国指定に向けた事業推進、町内で起業・創業する事業者に対する助成制度の導入等、地方創生を見据えた予算編成で、全議案を原案通り可決しました。また、人権擁護委員の推薦は適任と判断、請願2件は十分な調査・審査を要するため閉会中の継続審査としました。

一般質問は、10人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。

第65回定例会は、3月4日から25日までの22日間の会期で開催し、平成27年度一般会計予算案の他、59議案が提出され、予算特別委員会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会等で慎重審議しました。

27年度当初予算においては、人口減少対策を最重要課題に位置付け、保育園に通う第2子以降の保育料の無料化、小・中学校の児童生徒が使用する副教材費相当額の補助、地元農産物の地産地消を推進し学校給食費の負担軽減、相談員による婚活サポート、定住促進住宅を若者

支援、町内の若者に定住を促す婚活サポート・住環境整備、利神城跡の保存事業等々、行財政改革を踏まえつつ積極的な予算編成であり賛成する。

特別会計

反対討論
平岡きぬゑ 議員

國民健康保険
一般会計から9549万円の繰り入れで会計を維持

保険者の方々が安心して医療が受けられるものとして編成しており賛成する。

国庫金など特定財源を見込んで不足する額は、自らの基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れを行うなど、加入する被保険者の皆さんが安心して医療が受けられるものとして編成しており賛成する。

賛成討論
竹内日出夫 議員

平成26年度当初予算比
較で17・4%増の事業費を計上しているが、この多くは医療費の増加に伴う療養給付費が見込まれるものだ。



△若者定住環境整備へ
(定住促進住宅の改修)

賛成討論

竹内日出夫 議員

議員

合併10周年 次代への予算

主な
事業

予育て支援策の充実
若者定住環境整備

男女の婚活サポート事業
利神城跡保存・国指定

起業・創業事業者支援
コンビニ収納システム導入

後期高齢者保険料は27年度分、均等割り額で1,600円引き上げて4万7,603円にしている。年金の引き下げなど、高齢者にとって生活がますます苦しくなる下、保険料の引き上げではなく引き下げこそ必要だ。

連合議会で町長は「保険料の国・県の負担割合を増やして保険料が上がらないよう」求める請願に賛成せず、高齢者の負担軽減に背を向けている。

▲後期高齢者医療
金谷英志 議員
反対討論



▲コンビニ収納システム導入へ

賛成討論

加古原瑞樹 議員

生きないと健康づくり事業に409万円
反対討論

平岡きぬゑ 議員

平成12年度から始まった介護保険は、平成27年度から第6期になる。町は、厚生労働大臣が定めた「基本指針」に基づき、3年を1期とする介護保険事業計画を定めるが、期を経ることに保険料が

平成12年度から始まつた介護保険は、平成27年度から第6期になる。町は、厚生労働大臣が定めた「基本指針」に基づき、3年を1期とする介護保険事業計画を定めるが、期を経ることに保険料が

ものについては一般会計からの繰り入れを行い、加入者の医療費を安定的に守る予算となつており賛成する。



▲利神城跡保存・国指定へ

介護保険

生きないと健康づくり事業に409万円
反対討論

高騰している。各地で一般会計からの繰り入れを行なうなどして保険料の値上げを抑える取り組みが始まっている。

介護保険料軽減のため、一般会計からの繰り入れを決断すべきだ。

賛成討論

昨年度当初予算との比較で事業勘定4・8%、サービス勘定8・0%

岡本安夫 議員

平成12年度から始まつた介護保険は、平成27年度から第6期になる。町は、厚生労働大臣が定めた「基本指針」に基づき、3年を1期とする介護保険事業計画を定めるが、期を経ることに保険料が

不足する歳入額については一般会計からの繰り入れなど、加入する要介護者の皆さんのが安心して

不足する歳入額については一般会計からの繰り入れなど、加入する要介護者の皆さんのが安心して

増加となつてている。

これは要介護者の需要に伴う保険給付費とサービス事業費の増加が見込まれるものである。

平成27年度当初予算額と賛否 (単位：万円)

会計	新年度予算額	前年度伸び率	採決結果
一般会計	131億4,383	3.3%	賛成多数 反対 金谷英志 反対 平岡きぬゑ
メガソーラー事業収入	6,353	382.8%	全員賛成
国民健康保険	26億3,251	17.4%	賛成多数 反対 金谷英志 反対 平岡きぬゑ
後期高齢者医療	2億9,974	△5.5%	賛成多数 反対 金谷英志 反対 平岡きぬゑ
介護保険（事業勘定）	22億8,126	4.8%	賛成多数 反対 金谷英志 反対 平岡きぬゑ
介護保険（サービス事業勘定）	1,071	8.0%	全員賛成
朝霧園	1億2,831	1.4%	全員賛成
簡易水道事業	8億 824	△6.4%	全員賛成
特定環境保全公共下水道事業	8億4,518	△27.3%	全員賛成
生活排水処理事業	4億4,819	2.3%	全員賛成
西はりま天文台公園	1億 396	△0.8%	全員賛成
笠ヶ丘荘	1億2,581	△3.8%	全員賛成
歯科保健	2,642	△0.7%	全員賛成
宅地造成事業	2,396	0.5%	全員賛成
農業共済事業	1億1,185	7.1%	全員賛成
石井財産区	456	24.9%	全員賛成
特別会計の計	79億1,423	2.2%	
水道事業（支出）	3億6,277	△71.9%	全員賛成
総額	214億2,083	△1.5%	

条例改正等



▲「お休み処 瓜生原」の営業開始 (4/4)

瓜生原邸（平福）の有効活用策として、地域の施設を廃止しました。

**三日月健康福祉施設条例の一
例の一部改正**

利用者の減少により、三日月中学校の夜間照明施設を廃止しました。

部改正

**■夜間照明施設条例の一
例の一部改正**

姫路市及び佐用町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結

姫路市と連携中枢都市圏を形成するための協約で、地域間が連携することで総合的な発展が期待されます。

播磨圏域の経済成長をけん引し、活性化を

姫路市及び佐用町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結

姫路市と連携中枢都市圏を形成するための協約で、地域間が連携することで総合的な発展が期待されます。



▲けんこうの里三日月

金谷英志 議員

温泉の供給停止即、浴場閉鎖は拙速。温泉に代り、施設を廃止しました。

反対討論

子育て支援の一環として、コムニティバスを利用して、中学生以上の学生に通学定期制度を導入しました。（1ヶ月8千円～4ヶ月3万2千円）

③議会での審議を十分に尽くしたとは言えない。抛点施設の利活用という面から、審議を尽くすべきである。

活性化を団体として新たな憩いの場にすることにしました。

貸付先 平福文化と観光の会 会長 原田 昇

通学定期制度を導入

■市町村運営有償運送事業費用徴収条例の一部改正

活性化を団体として新たな憩いの場にすることにしました。

貸付先 平福文化と観光の会 会長 原田 昇

反対討論

自治会への説明では、一方的に閉鎖の方針を示しただけで、けんこうの里三日月をどう活用するか協議したというものではなかった。今は「休止」とし、施設全体を町民の健康増進を図る施設として、今一度検討する期間をもつべきである。

賛成討論

条例改正の趣旨は、泉源の枯渇、汲み上げポン

反対討論

わる効用、例えば薬草湯、ハーブ湯などの方策を検討してからでも遅くはない。

廣利一志 議員

自治会への説明では、一方的に閉鎖の方針を示しただけで、けんこうの里三日月をどう活用するか協議したというものではなかった。今は「休止」とし、施設全体を町民の健康増進を図る施設として、今一度検討する期間をもつべきである。

賛成討論

条例改正の趣旨は、泉源の枯渇、汲み上げポン

の機能まひにより、こ

れ以上の継続が困難となつたことである。

また、地元志文自治会の責任ある立場の方も

このようない状態の中で、これ以上の財の投入はそ

の必要性を感じない。町

の趣旨に賛同する」との意見であった。

今後の抛点施設のあり方については、地元を含め十分な協議を願うこと

はやむなしと考える。た

だし、施設活用は今後地

域住民と協議していく必

要はあると考える。

第65回定例会 賛否が分れた議案

議案名	採決結果
三日月健康福祉施設（けんこうの里三日月）条例の一部改正	賛成多数 反対議員 廣利一志 金谷英志 平岡きぬえ
介護保険条例の一部改正	賛成多数 反対議員 金谷英志 平岡きぬえ
議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部改正	賛成多数 反対議員 岡本義次 金谷英志 平岡きぬえ
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	賛成多数 反対議員 金谷英志 平岡きぬえ



▲第2子から保育料無料

なサービスの提供が困難になる。そのため月額引き上げは加入者の負担を求めるものですが、公費による軽減措置も予定されており賛成する。

賛成討論

特別職の給与等改定

特別職	支払区分	改定前	改定後
町長	月額	730,000	811,000
副町長	月額	628,000	662,000
教育長	月額	582,000	613,000
議長	月額	362,000	370,000
副議長	月額	272,000	290,000
議会運営委員長	月額	262,000	280,000
常任委員長	月額	262,000	280,000
議員	月額	250,000	270,000
農業委員会	会長	年額	224,100
	副会長、職務代理者	年額	161,400
	委員	年額	128,300
監査委員	知識経験者	月額	28,700
	議会選出	月額	16,800
固定資産評価審査委員会	委員長	日額	5,900
	委員	日額	5,900
公平委員会	委員長	日額	5,900
	委員	日額	5,900

正 ■介護保険条例の一部改
利用者が負担額を定めるもので、第2子以降の保育料を無料化しました。

第5期計画の介護保険料は4割もの大幅な値上げだった。3年間の給付見込み資料を提出し、議会審議を通して当局提案

けするもので詰め三更な
い。介護保険料の高騰を
抑えながら介護の提供基
盤を拡大するため、一
般財源の繰り入れを決断
するべきだ。

議調査では、住民の多数が議員報酬の引き上げに反対である。

県下の議員報酬は平均24万7千円だ。本町の現行議員報酬25万円は平均を上回っている。

額の約半分であり、この改定で近隣の上郡町、太子町の月額27万円に足並みがそろう。

■特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

子育て支援！

第2子以降の保育料無料

画の策定及び介護保険法の改正に伴うもので、標

の5200円を5100円に引き下げた経過がある。

■議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部改正

■特別職の職員で非常勤

税金の使い道

予算はどう議論されたか？

<p>■町税</p> <p>問 町民税の個人が前年比2400万円減、法人が260万円減、この収入減の根拠は。</p> <p>答 人口減によるもの。住民税は273人減の8720人で算定。法人税は税率2・6%引き下げ分913万9千円減を見込んでいる。</p>	<p>■一般会計・歳入</p> <p>予算特別委員会 (3／5・6) 委員長 西岡正 副委員長 千種和英</p>
--	---

<p>■地方交付税</p> <p>問 普通交付税の増額の要因は。</p> <p>答 算定の基礎となる基準財政収入額、基準財政需要額の変動によるもので、個別算定、事業費補正等積み上げの結果だ。</p>	<p>■総務費</p> <p>問 婚活・男女の出会いサポート事業費80万円の委託先と過去の実績は。</p> <p>答 委託はこれまでの経緯を踏まえ検討する。3年間で1組が結婚された。</p>	<p>■一般会計・歳出</p> <p>答 平成28年から9割、7割、5割、3割と段階的に減額されるが、激減緩和措置として支所費や消防費、清掃費等で加算も見込まれる。</p>
--	--	---



▲江川ふれあい号

<p>■農林水産業費</p> <p>問 猟犬傷病補償金とはどういう性質のものか。</p> <p>答 猗犬が有害鳥獣駆除活動中にイノシシ等に負傷させられたり、病気で死亡した場合の補償や治療費である。</p>	<p>■衛生費</p> <p>問 にしありま環境事務組合負担金が増えている理由は。また、負担金を減らすための取り組みは。</p> <p>答 借入金の元金償還が始まるとため。実証実験として小型家電の無償回収ボックスを設置した。</p>	<p>■園芸園設置費</p> <p>問 地域自治包括交付金3100万円を13地域づり協議会へ交付するが、各協議会の取り組みは。</p> <p>答 交付金はふれあい事業と地域の課題解決事業からなり、伝統文化の保存や環境整備、新たな特産品開発など地域の独自性を発揮している。</p>
---	---	--

<p>■商工費</p> <p>問 地域若者サポートステーション事業相談員謝金7万2千円とは。</p> <p>答 NPO法人ひめじ若者サポートステーションに委託し、仕事で悩んでいる方を対象に相談に乗つていただぐ事業。</p>	<p>■獵犬傷病補償</p> <p>問 猗犬傷病補償金の額は1万6千円、ワナが8千円で2300頭分。猟期中のシカは1頭当たり5千円で1073万円の予算を計上している。</p>
--	--



国保会計への繰り出し金増加を指摘

健康づくり推進で

医療費抑制を図れ！

問 起業・創業支援事業
助成金150万円とは。

答 商店街以外を対象にした新規起業者への補助。

問 消防力が足りない場合、最寄りからの応援体制が整う。

答 消防署は都市内ののみ対象。周辺地域へ出動できるようにならないのか。

問 播磨科学公園都市の消防署は都市内ののみ対象。

問 除雪及び凍結防止剤配布作業委託料は400万円で十分に対応可能か。
答 不足する時は補正予算をお願いしたい。

問 定住促進住宅を若者向けに改修するが、家賃の軽減も一緒に考えている。
答 公営住宅法に則らない住宅として軽減済みであり、今は考えていない。

問 消防費
西はりま消防組合負担金（高機能消防指令センター総合整備事業）2億1583万円の説明を。

問 機械導入や管理費用。
整備のメリットは。

特別会計

する状況ではない。
今までは広域化した時に激しい税率アップと、一般会計からの持ち出しが増えるのでは。

答 佐用町は県下でも税率が低いが、給付は一番高いアンバラスの状態。

率が低いが、給付は一番高いアンバラスの状態。

答 反対・賛成討論あり。

問 佐用町は県下でも税率が低いが、給付は一番高いアンバラスの状態。

結果 賛成多数原案可決

■メガソーラー事業収入
売電収入は何に使うのか。

答 姫新線を利用した校外学習や林業関連の補助。
結果 全員賛成原案可決

■国民健康保険
保険税減額の要因は。
答 限度額の見直し、軽減額アップに加え、被保険者数の減少による。

問 小中学校の副教材費
補助は商品券ではなく、町が直接負担しては。
答 消費喚起と、商工業者の支援も目的の一つ。
利神城跡国指定の可能性とメリットは。

問 100歳体操で健康づくり
一般会計について反対。
賛成討論あり。



▲いきいき100歳体操で健康づくり

第65回定例会 付託案件審査

■後期高齢者医療	問 広域連合で決定され る保険料負担についてど う考えるのか。	答 国保同様ルールに基 づいた決定だ。何とか安 定運営されており妥当だ と考える。	結果 賛成多数原案可決
■簡易水道事業	問 滞納への取り組みは。 毎月督促、催告等行 いながら徴収に努める。	答 毎月督促、催告等行 いながら徴収に努める。	結果 全員賛成原案可決
■特定環境保全公共下水 道事業	問 加入分担金滞納額1 千円は毎年計上するのか。 引き続き加入を推進 し接続をお願いする。	答 新されていない。独自の ホームページは開設でき ないか。	結果 全員賛成原案可決
■生活排水処理事業	問 滞納への取り組みは。 毎月督促、催告等行 いながら徴収に努める。	答 頻繁に更新するよう 取り組む。	結果 全員賛成原案可決
■水道事業	問 県の補償工事はまだ 残っているのか。 メートルで最後となる。	答 笹ヶ丘橋上流300 メートルで最後となる。	結果 全員賛成原案可決
■農業共済事業	質疑なし	結果 全員賛成原案可決	
■笹ヶ丘荘	売上減収の対応は。 目玉料理の開発に努 める。	答 目玉料理の開発に努 める。	結果 全員賛成原案可決
■石井財産区	質疑なし	結果 全員賛成原案可決	
■姫路市及び佐用町にお ける連携中枢都市圏形成 に係る連携協約の締結	問 平成27年度優先的に 取り組む事業は。 從来の事業を割当て、 充実させる。	答 各市町がもつ施設は 連携を図り総合的な発展 を目指すもの。	結果 全員賛成原案可決
■市町村運営有償運送事 業費用徴収条例の一部改 正	問 定期1ヶ月も4ヶ月 も月当たり単価が同じでメ リットがない。	答 購入手間が1回で済 む。	結果 全員賛成原案可決
委員長 小林裕和	(3/16)		



▲笹ヶ丘荘 新メニューの開発

■職員の給与に関する条 例の一部改正	問 笹ヶ丘荘調理員の給 与上限40万円とは。	答 利用増進につながる 料理を充実させるため、 調理員報酬を設定するも の。	結果 全員賛成原案可決
■三日月健康福祉施設条 例の一部改正	問 施設のあり方をもつ と検討すべきでないか。	答 旧町時代に機械が故 障した場合は更新しない との答申が出ていた。	結果 全員賛成原案可決
■市町村運営有償運送事 業費用徴収条例の一部改 正	問 温泉に代わる薬草湯 等考えられないか。	答 利用客の多くは町外 であり、佐用町全体どし て考えた。	結果 全員賛成原案可決



▲コミバスで通学（三日月駅前）

反対・賛成討論あり。
結果 賛成多数原案可決



▲三日月温泉 泉源地

産業厚生常任委員会
(3/17)

委員長 石堂 基

町有財産（瓜生原邸）
の無償貸付

■教育研究所条例の制定
■教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定
■教育長の身分が常勤の特別職となり、関係する条例整理が必要となつたため。

答 従来の運用が明確になり、より一層の教育推進が図られる。

問 条例化のメリットは。
答 従来の運用が明確になり、より一層の教育推進が図られる。

結果 全員賛成原案可決



▲平福瓜生原邸

結果 全員賛成原案可決
人数は。

■国民健康保険税条例の一部改正
■農業共済条例の一部改正
■農業共済条例の一部改正
■介護保険条例の一部改正
■介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
■米価対策の意見書を求める請願

答 限度額の引き上げで対象はどう位増えるのか。
答 81万円の部分で34歳

結果 全員賛成原案可決
帶。

問 指定管理は検討しなかつたか。
答 普通財産であることと、地域の交流拠点施設として柔軟で弾力的な活用をしていただくなめ。

結果 全員賛成原案可決
結果 全員賛成原案可決

■町道路線の変更
■保育園条例の一部改正
■保育園を利用する場合の保育料は。

結果 全員賛成原案可決

結果 全員賛成原案可決

■居住地の自治体が設定した保育料を佐用町に納めていただく。

結果 全員賛成原案可決

■子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例制定
■地域包括支援センターに関する条例制定
■指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例制定
■TPP交渉に関する請願

結果 全員賛成原案可決
質疑なし

答 4月以降の園児数は362人の予定、内239人が無料になる。

問 改正で保育時間が変わらが、送迎バスに影響しないか。

答 運行時間以外は従来通り保護者の送迎となる。

結果 全員賛成原案可決
結果 全員賛成原案可決

■介護保険条例の一部改正
■運営協議会で料金改定した内容が議会へ説明されていないのは議会輕視だ。

結果 全員賛成原案可決

答 2月の運営協議会では異論もなく、時期的なことから3月議会での説明とした。

結果 反対・賛成討論あり。

■指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例制定
■TPP交渉に関する請願

結果 全員賛成原案可決

■地域包括支援センターに関する条例制定
■包括支援センターに保健師を増やすべきだ。

結果 全員賛成原案可決
結果 繼続審査

■介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
■米価対策の意見書を求める請願

答 農家を守るために米穀の支払交付金半減措置と、米価変動補てん交付金の廃止を求める内容でした
が、現状での米価変動や今後の国制度見込みなどをさらに調査する必要を求める意見が出ました。

結果 繼続審査
結果 全員賛成原案可決
結果 全員賛成原案可決

が増える中、人員の拡充は必要と考える。

結果 全員賛成原案可決
結果 全員賛成原案可決

請願

一般質問

佐用町のここが聞きたい!!

10人の議員が斬りこむ



3月定例会での一般質問は、3月11日と12日の2日間にわたって、私たちの身近な課題やまちの将来展望など21件の質問を行いました。

※記事と写真は、質問した議員本人の原稿に基づいています。掲載順は毎回くじ引きで決めています。

質問者	頁	通告内容
金谷英志	12	① 林業振興にC.L.T(直交集成板)事業の検討を ② 学校統合は住民合意を基本に
廣利一志	13	① 拠点施設の利活用策について問う
石堂基	14	① 新年度における子育て支援制度の拡充について ② 佐用町森林活用計画の実践について
山本幹雄	15	① 地域おこし協力隊について
千種和英	16	① 佐用町における「投資」の方向性は ② 新農産物直売所構想の進捗状況は ③ ひまわり祭り会場の進入路整備の進捗状況は
竹内日出夫	17	① 地方創生戦略の推進について ② プレミアム付き商品券の導入について ③ ヘルプカードの導入について
加古原瑞樹	18	① 鹿による被害を減らし 鹿肉の有効利用を
岡本義次	19	① 平成27年度予算は ② 学校跡地の有効活用は ③ 絵画と埋蔵文化財の発掘物の展示は
平岡きぬゑ	20	① 安心して高齢期を暮らせる町へ独自施策の充実を ② 第3次町行財政改革について ③ 「連携中枢都市圏構想」について
小林裕和	21	① 活性化を目指して取り組む地域活動の現状と新たな支援策は? ② 事務事業の見直しと、より一層の連携した施策の推進をめざして

林業振興に C L T (直交集成板) の検討を

町長——出荷先として視野に入れる



かなたに えいし
金谷 英志 議員



▲ C L T で建てられた高知県・おおとよ製材株の社員寮
銘建工業株ホームページより

今年1月に出された中学校統合は住民合意が基本だ
教審の通知では「小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけではなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、まちづくりの在り方と密接不可分という性格も持っている。このため、適正化の具体的な検討については、行政が一方的に進め

十分協議を重ねる



▲ (佐用中学校・上津中学校・上月中学校
・三日月中学校)

問 高知県では、「国産材の飛躍的な需要拡大を図るC L T の推進」として、次のような政策提言を農水省、林野庁、国交省にしている。

「C L T は欧米等で中層や大規模建築物など様々に普及しており、我が国で普及が進めば、中質材を中心に飛躍的な需要が喚起される可能性があり、林業・木材産業をはじめ中山間の振興になると考へられる」

『町森林資源活用計画』

町長 C L T は、今後普及が予測されるので、原木の出荷先として視野に入れていいく。

教育長 十分な協議を重ねながら、地域の皆さんと情報を共有し理解を得ていきたい。

拠点施設の利活用策をいかに考えているか

町長－住民との合意が大事



ひろかが かずし
廣利 一志 議員



▲けんこうの里三日月

学校跡地の検討は

問 役場のどこで検討しているのか。

町長 副町長をトップにして「地域活性化支援会議」を設け検討し、プランづくりをしている。

問 プランについて提示できるのか。

町長 町営住宅に転用、高齢者向けのサービス付住宅などを検討している。

江川小、中安小の跡地については、具体的な申し出があり検討している。

問 旧佐用町での経験を生かせ

町長 利神、石井、長谷、海内各小学校の統合・跡地活用策は、今に生かせるでは。

問 けんこうの里三日月

温泉施設の閉鎖は、まだ地元住民への説明、協議の途中ではないのか。



▲久崎小学校

る努力をした、まさにその事を今する必要がある。流域の自治会に対しても、粘り強く説明・協議を続けるべきでは。

委員が自治会長と兼務であり負担が大きいのでは。町長 質問委員はその代表である。

支所の空きスペース

問 工事については、合併前に出た答申を重視する。

町長 温泉の泉源の問題、トレーング場、ゲートボール場は今までのま

まか。当分の間、現状のまま使用することとする。

問 その事については、更に地元と協議をしたい。

町長 「ゆう・あい・いし」「ゆう・あい・いし」へのバツクアツプは

問 移住者の要望に応えるよう検討をして検討中だ。

町長 各支所、上月保健福祉センターの活用は。

問 文化財の保管・展示などを検討している。

町長 安く利用できる風呂がある事は大事である。そんな声をどう考えるか。

町長 目的と全体構想の中で考えている。

委員が自治会長と兼務であり負担が大きいのでは。町長 質問委員はその代表である。

「木の駅」の事業化と林内路網整備



いしどう もとい
石堂 基 議員

町長——町独自の助成制度で考える



▲林内路網での森林機械作業



▲未利用材の有効活用

問 森林資源活用計画で予定している事業の検討は進めているのか。

町長 クリーンセンター跡地で「木の駅」（木材集出荷施設）を計画している。この施設には、町内で発生する間伐材や里山整備による支障木など、従来有価になりなかつた木材などを出荷してもらいたい、その材を実勢価格以上になるように独自の助成金を加えた有価で買い取り、森林整備や林業振興のきっかけとしたい。

問 多くの住民に参加し

てもらうための啓発と林内作業に関する安全・技術講習会の開催などが大切ではないか。

町長 指摘のとおり、多くの皆さんに参加してもらえるよう事前の啓発活動を十分に行う。また、林内作業の危険性は十分に認識しているので、森林組合や県関係による講習会の開催も計画に含めて検討している。

問 災害後の林道や作業道の復旧整備が進んでいない。地元負担の軽減が必要だと考えるが、具体

的な取り組みの考えは。町長 災害後から復旧に

関する要望もあるが、多額の地元負担が必要なことからなかなか実施できない。地元負担の軽減を行つたため、町独自の助成制度を検討している。

その後は、集団的に森林経営計画を樹立して、補助間伐等の森林整備に取り組みを始めてもらえる箇所から優先的に対応していくたい。

問 「子ども・子育て支援計画」の策定状況は

27年度から運用する

子ども子育て支援計画の策定は行つてあるか。

町長 策定作業は少し遅れたが3月に完了し、関係者に配布できるようになつている。

問 以前の計画で検討課題となつていた生涯学習課題に関する内容などは、これまでに手つかずの状態だった。その対応は。町長 今回は、教育委員会を含めた各組織の連携を十分に行い、課題への取り組みができるように指示する。

地域おこし協力隊の採用計画は

町長 — 当初は1名で状況を見て考える



やまもと みきお
山本 幹雄 議員

佐用町では1人の方が地域おこし協力隊として頑張っておられ、地域の方に大変喜んでいたみたいていると伺っている。

しかし、地域おこし協力隊の仕事には、もう少し幅広い活動があると聞いています。どのような仕事があるのか。また、来年、佐用町で人だけなのか。佐用町では集落単位での募集と聞

問 豊岡市竹野町では2人の女性が地域おこし協力隊として活躍されている。特技を生かしパソコンの使い方を教えたり、外国の方へ英語通訳をしたりと活動が伝えられている。そして今年は、新たに7人を採用するらしい。

本町においては、平成23年から取り組んでおり、佐用町ふるさとづくり協議会を構成する大船、豊福、乙大木谷、桜山、田和、日高、西新宿の7集落で耕作放棄地などの作業を行う都市交流の地域の応援活動や、神戸にある兵庫県のアンテナショップでの応援活動などを行つていただいている。

いたが、自治体としての活動にしてはどうか、町長の考え方伺う。

町長 都市地域より1年以上3年未満で募集し、地域ブランドの創設販売支援、住民の生活支援などを行いながらその地域へ定着を図っていくことを目的としている。

2点目の地域おこし協力隊の仕事については、現在例示されているものは地域行事の応援、都市との交流事業の応援、地域おこしの支援、農作業の支援、耕作放棄地等での農林業作業の従事、見守りサービス、通院や買い物のサポートといった、住民の生活活動支援等多種多様になっている。



▲地域おこし協力隊の活動

佐用町における投資の方向性は

町長——将来を見据え、必要な対策は実施している



▲将来も維持管理が必要な橋梁

問 社会インフラの維持管理費用の将来的な見込みとの調達方法は。

また、生産性を求める産業投資としてはどんな結果を求めるのか。

町長 前提として、行政の投資効果は数量で計ることができるので伝わりづらいが、住民によく説明するのが仕事だと考える。例えば、平成29年までの橋梁点検事業費は約2億円で国庫補助が6割、公営住宅については長寿

命化工事も早期対応をしている。

過去5年間の実績では、単年度当たり道路・橋梁の維持管理費は

1億3600万円、公営住宅の維持管理費は1

100万円程度であり、過疎債等の有利な財源を活用している。

産業投資においては、農林業を基幹産業と位置づけ、収益と雇用の拡大を目指す。人材育成

の農業科学科と連携し、I・Jターンの就農者の受け入れ体制等の整備を考えている。

町内の若手の人材育成の必要性を感じるが、どのように考えるか。

町長 一例として、佐用高校の農業科学科で学んだ学生が就農する仕組みをつくりたい。

問 児童・生徒へのキャリア教育の取り組みは。

教育長 職場体験・ボランティア活動を通じて進路や生き方を主体的に捉えるように取り組んでいる。



▲販売と生産の両面の支援を

問 新農産物直売所構想の進捗状況は

町長 平成27年秋開設予定だったが、

問 同時施工を目指していたが断念した。影響のある排水の設計変更は実施しており、今後は近隣の同様施設の状況調査や関係者と協議をする。

問 生産者・農家の育成

町長 現在は取り組んでいない。今後は取り組みに支援が必要だと感じている。

問 出荷量の確保は。

農林振興課長 不足の認識はある。若手就農者を含め支援を進める。

町長 若手中心に町独自の支援策も考えていかなればならない。

地方創生戦略にいかに取り組むのか

町長— 地方創生係を新設し、全職員で取り組む



たけうち ひでお
竹内 日出夫 議員

問 戰略を立てるための
人材確保をどうするのか。
町長 国の支援制度や外
部団体の協力を得たい。

問 周辺市町村との連携
の在り方についてはどう
うか。
町長 広域連携が必要な
施策に関しては、広域的
に取り組み、地域基盤の
強化を図る。
問 結婚・出産・子育て・
か。



▲にぎわう久崎市

教育の環境整備の現状と、
今後についてはどうか。

町長 佐用町こうのとり
の会や町主催の婚活イベ
ントを行い、縁結び支援
を強化する。また、出産
祝い金や中学校卒業まで
の医療費助成など、町独
自の経済的支援を行つて
いる。

教育については、保育
園や小学校の規模適正化
を推進し、保育・教育環
境の充実を図っている。

問 企業誘致への取り組
みについてはどうか。
町長 社会情勢や環境・
地理的条件等もあり、町
単独での誘致にこだわら
ず、広域的な企業誘致に
取り組むことでその可能
性が高まる。

町長 プレミアム率は、
購入者の生活支援とこれ
までの二一〇%を参考に20
パーセントに設定したい。
予算はプレミアム分が4
千万円で販売総額は2億
4千万円、利用期間は6
ヶ月間で9月初旬に旧町
ごとの4地域で販売する。

問 プレミアム付き商品
券は、町内の全商店で使
用できるのか。
町長 取扱店は商工会員
を対象に募集する。会員
以外の事業者については、



▲過去3回発行されたプレミアム付き商品券



▲東京都のヘルプカード

この機会に商工会への加
入を期待している。

ヘルプカードの導入
を提案する

問 障がいのある方が、
緊急時や災害時に周囲の
方に手助けをお願いした
い時に提示する「ヘルプ
カード」を導入すべきで
あると考えるが、町長の
見解を問う。

町長 町では、県下で統
一した「譲り合い感謝マ
ーク」を推進している。今
後については、県や近隣
市町の動向を注視してい
きたい。

鹿による被害を減らし鹿肉の有効利用を

町長——関係機関と協力し有効利用を図っていく

問 鹿被害の状況は。

問 鹿被害の状況は。
町長 水稲で596アール、大豆237アールの合計833アールの内、501アールが鹿による被害。農業だけでなく、家庭菜園や花などの被害も大きいが巴屋できて、

ている。また有害駆除・獵期あわせて26年度は約4千頭の捕獲を行つてゐる。また、バッファゾーンの整備など地域の方の努力により、農地に鹿が入りにくくしてゐる。

問	被害状況の推移は。
町長	有害捕獲や防護柵の設置により、25年度以降は減少傾向にある。
町長	対策については。 27年度は10集落に防護柵1万5千メートル 約800万円の補助をし

問 月に比肩する捕獲力が底には、11月～2月の猟期には、こそ重点的に捕獲すべきだが、猟期も有害駆除と同額にならないか。

農林振興課長 県が決めた金額で変更できない。本町では銃器で1万6千円の駆除費だが、美



▲シカ防止用の電気柵とのり網

かこはら みづき **加古原 瑞樹** 議員

作市では2万円、食肉となれば3千円の追加となつてゐるが上がらないか。
町長 猪師さんの苦労を考えれば理解できるが、被害が続く以上見通しが立たず難しい。

問 県・町の補助により町内に2箇所の処理場ができましたが、多くの問題があり運営が困難な状況である。PRなどの支援で販路開拓はできないか。

農林振興課長 今後、処理頭数が増加すれば検討する。

問 鹿肉はヘルシーな肉で、欧米では高級食材として取り扱われている。

ケ丘荘などでは、スポーツやダイエットツリーの企画として提供する考え方ではないか。

商工観光課長 今は考えていないが参考にし、調整する。

問 鹿肉 鹿肉は健康面でも優れた食材だが、教育の観点からもっと積極的に学校給食へ利用できないか。

教育課長 昨年までと同様に利用していく予定。調理時間が限られるため、今後は商工会等で開発される加工品も利用できれば検討していきたい。



▲シカ肉の新メニュー

新年度予算・アピールできる目玉は

町長—保育料を第2子から無償にする



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員



▲久崎保育園

平成27年度予算は

問 地方交付税額は、今後どのように変わるのか。

町長 今後5年間で段階的に減っていく。緩和措置もあるが14億2600万円少なくなる。

問 佐用町は若者が街へ出る一方、高齢者が増え国保、介護等福祉にかかる金が増えていく。税収の少ない佐用町は、いつの時代においてもPDC Aを回しながら行財政改革を進めるべきだ。

町長 ピールできる目玉は何か。新年度予算で町民にアピールできる目玉は何か。

町長 保育料の第2子以降無償化や、保護者が負担している小中学生の副教材費相当額を商品券で支援す



▲幕山小学校、幕山保育園閉校閉園記念行事

学校跡地の有効活用は

林道、若者の子育て・教育支援等に使う。

問 決まったことがあるのか。

町長 決まったものはないが、旧江川小学校では総務省の地域経済循環創造事業交付金を申し込んでいる。

問 全国で13万人も登校拒否の中小学生がいる。退職した先生でNPOを立ち上げ、国・県の支援も受けながら、そうした子供達を受け入れ、根気

町長 トアワード、収入5100万円を見込んでいる。

町長 町内の若手農業者と協議しながら進めいく。今後、用地購入費や埋蔵文化財発掘調査費等

強く勉強や運動をさせたり小動物とふれあう場をつくるなど学校跡地を活用できなか。

町長 他でも行っている所はあるが、町では今のところ考えていない。

問 絵画と埋蔵文化財展示を

町長 片山なおしさんから寄贈された絵画や従前から保管している埋蔵文化財も、役場や上月歴史資料館で展示すべきだ。

町長 片山さんの絵画は本庁や支所で展示する。埋蔵文化財も検討する。



▲佐用町社会福祉協議会きらめきケアセンター
デーサービスの様子（東徳久）

安心して高齢期を暮らせる町へ



ひらおか

平岡 きぬゑ 議員

町長―包括支援センターの増員をする



▲健康福祉課内 包括支援センター

問 第6期介護保険事業
計画（平成27年度から29
年度）は、全高齢者の実
態を把握し推進している
か。

町長 一人暮らし、認知
症の疑いがある人を対象
に毎年実態把握を実施し
ている。

平成25年度662人の
2次予防者を把握し、介
護予防教室の参加案内や
個別にケア会議を実施し
た。

問 人員の増加を求める。
支援センターには、
平成25年度電話等延べ2
894人の相談があった。
事務量に応じて強化する。

町長 低年金の人が要介護
状態になったときに、最
後まで入所できる特養ホー
ムの充実が必要ではない
か。

町長 特養建設は、県の
認可がいる。現在ベッド
数は238床。県平均よ
り多いので増床は難しい。
問 介護保険料は、見直
しのたびに引き上げられ、
保険料滞納者もいる。高
齢者や家族に対す
る総合的な相談・支援を
行う包括支援センターの

問 齢者の命と暮らしを守る
ため、一般財源の繰り入
り入れは予定していない。
問 学校など公共施設跡
地を福祉施設として活用
する計画は。

町長 一般会計からの繰
り入れは予定していない。
問 議論はあったが計
画はない。

問 第3次「行革」で町
民サービスの後退を
するな

町長 身近な住民サービス
の低下で地方の衰退を加
速させないか。
問 佐用町の人口が減
少する中、すべての機能
を町だけで維持していく
ことは難しい。周辺地の
切り捨てになつてはなら
ないと考えている。

町長 姫路市との「連携中
枢都市圏構想」

町長 佐用町の人口が減
少する中、すべての機能
を町だけで維持していく
ことは難しい。周辺地の
切り捨てになつてはなら
ないと考えている。

地域活動の新たな支援策は

町長一 「やる気を引き出す」仕組みづくりが必要



こばやし ひろかず

小林 裕和 議員

参加者や交流人口の把握をするなど検証している。そうした活動状況や今後の取り組みを通して、基盤となる農村風景の維持がなされていることは評価している。

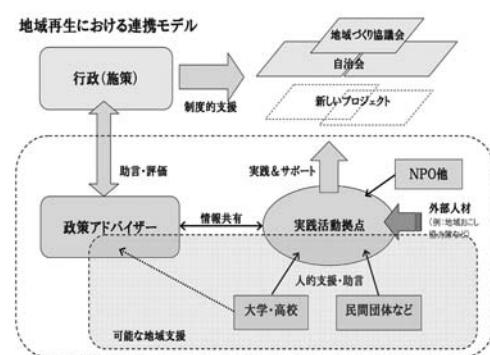
支援をしていくこと、事業への取り組みの必要性が増大する中で効果的な支援を行うこと、活性化活動の中心となる地域リーダーの育成などが改善すべき課題である。

問 地域活動への今後の取り組みと、新たな支援策はどうか。

町長 「やる気を引き出す」仕組みづくりや、女性や若者が参加しやすい組織づくり、地域課題を解決する活動が必要であると考える。

活動に取り組むついで、外部アドバイザーの活用

問 地域活動の取り組みに評価し検証していくか。
町長 地域づくり協議会の目的は、地域課題の解決に取り組むことで、交流を深めるふれあい事業と、日常生活の不便を解消する地域課題解決事業を取り組んでいる。各協議会に対するヒア



▲地域再生連携玉元会

や、大学・企業との連携

や、大学・企業との連携も推進し、より広くより町長 どうか。住民目線で考えた

多くの方に協力して
だき地域の活性化に
ていきたい。

とき、自治会をはじめ各
団体の役員の方に参加を
依頼する場合は対象者が

問 全体をまとめのよう
な体制が必要ではないか。
町長 課題・相談内容に
より各部署間が連携し対
応する「」ことが重要であり、
必要ないと考える。

重なり、行事の重複では
ないかというイメージを
伴うことがある。従前よ
り調整は行っているが、
改めて徹底し効率的な事
務事業を進めるようにし

事業の見直しと連携 した施策を

たい。事務事業の目的、
対象者、開催時期等、具

問 見直しを進めることにより、自治会活動の軽減が図られると考えるが

体的内容に基づいて内音



▲町民いきいきフォーラム

議会に期待する声多し 議員の資質向上も

議会運営委員会

委員長 矢内 作夫

町議会では、合併後初となる議会報告会を開催し、82人の方々に参加をいただきました。

報告会では、

①議会のしくみについて
岡本義次議会運営副委員長

②わが町の財政状況につ
いてー山本幹雄監査委員

③常任委員会の活動内容
委員長と石堂基産業厚生委員長

④議会改革の取り組みにつ
いてー岡本安夫副議長

質疑・意見交換の時間

には、議会に対する強い期待と人口減少を憂う意見などが交わされ各会場とも約2時間で終了しました。

議会を皆さま方のより身近なものとするため、また、共に町発展のため協力いただきため、議会改革の一丁目一番地と

して今後もしっかりと続けたいと思っております。

なお、今回は旧町単位で開催しましたが、次回は各地域づくり協議会単位での開催を予定しておりますので、多数ご参加くださいますようよろしくお願いします。

これまで開催しましたが、次回は各地域づくり協議会単位での開催を予定しておりますので、多数ご参加くださいますようよろしくお願いします。

質疑・意見

状にがくぜんとする。企業誘致、人口増について議会の取り組みは。

議会の取り組みは、新年度予算では、

第2子以降保育料無料化、小中学校副教材費相当の商品券補助など、支援策

度人口減少対策を重点課題とした施策を予定して

おり、議会も共に検討して

ていきます。

空き家について、年配者ではなく、若い人の移住を考える必要がある。新築の家を提供する

ぐらいの施策が必要では。

年配者ではなく、若い人の移住を考える必要がある。新築の家を提供する

ぐらいの施策が必要では。

組みは。

新年度予算では、

第2子以降保育料無料化、小中学校副教材費相当の商品券補助など、支援策

度人口減少対策を重点課題とした施策を予定して

おり、議会も共に検討して

ていきます。

災害で荒れた林道を議会も現地確認し、対策を願う。

議会も現地確認し、対策を願う。

▲さよう文化情報センター



▲上月文化会館

合併後初

第1回議会報告会

2/21 上月文化会館、さよう文化情報センター
2/22 三日月文化センター、南光文化センター

アンケートの感想欄

- 報告会開催の広報をさらに行なうことで、出席者を増やす努力が必要。
- 地域づくり協議会単位だともっと密着した報告会になると思う。その場合、議員を班分けしたらどうか。
- 行政機関の本庁集約と学校保育園の規模適正化でさらなる過疎化を危惧します。今後とも、地域の意見を聞く機会として開催し、多くの町民が参加できる方策を。
- 子ども議会を開催しては。
- シカ被害は車の事故も把握しては。
- テレビ中継で行政に関心を持っている。ますますの活躍を望む。
- 総花的なものでなく、5年、10年後の夢を明確にしてほしい。
- 自治会統合の話しが聞きたかった。
- 結果の報告ではなく、Sレ列車の早期実現を応援します。

アンケート結果 ~ありがとうございました~

開催地域／開催日	佐用 2/21 (土)	上月 2/21 (土)	南光 2/22 (日)	三日月 2/22 (日)	合計	率 (%)
参加者数	34	19	11	18	82	
アンケート回答者数	31	17	9	17	74	90.2%
①次回開催（予定）の希望曜日について						
イ) 土曜日	23	13	5	5	46	61.3%
ロ) 日曜日	8	4	2	10	24	32.0%
ハ) その他	0	0	2	3	5	6.7%
(小計)	31	17	9	18	75	100.0%
②開催場所について						
イ) 旧町単位	16	11	3	11	41	57.8%
ロ) 13地域協議会	5	2	2	3	12	16.9%
ハ) さよう文化情報センター	11	1	4	1	17	23.9%
ニ) その他	0	0	0	1	1	1.4%
(小計)	32	14	9	16	71	100.0%
③各委員長の説明と内容について						
イ) よく分かった	20	12	6	9	47	70.2%
ロ) よく分からなかった	7	0	1	3	11	16.4%
ハ) その他	3	2	0	4	9	13.4%
(小計)	30	14	7	16	67	100.0%
④報告会開催について						
イ) 評価できる	29	14	7	14	64	98.5%
ロ) 評価できない	1	0	0	0	1	1.5%
(小計)	30	14	7	14	65	100.0%
ハ) 次回参加する	23	13	7	14	57	96.6%
ニ) 次回参加しない	2	0	0	0	2	3.4%
(小計)	25	13	7	14	59	100.0%



▲南光文化センター



▲三日月文化センター



姫新線を走っていた蒸気機関車（早瀬）

視察レポート

総務常任委員会（2/9～10）徳島県・神山町、美波町

産業厚生常任委員会（2/23～24）高知県・土佐町、津野町

総務常任委員会

委員長 小林裕和

創造的過疎で まちづくり (神山町)



▲山間地域に位置する神山町

人グリーンバーーの大南理事長からお話を伺いました。神山町は徳島県のほぼ中央部に位置する山間地域で、人口は約6300人、高齢化率は46%に達する過疎のまちです。

1997年、徳島県が打ち出した国際文化村構想を主導的に進めたのが後のNPO法人グリーンバーーで、その後アーティスト招致活動やサテライトオフィス事業など住民が主体となってまちの創生を進めています。

人口減少を受け入れ、持続可能な地域を創ろうと、最低限必要な人口構成や構造をコントロールする「創造的過疎」を基本理念に移住者を伸ばしています。

①若者が古里に帰つてこない → 場所を選ばない働き方が可能な企業を誘致する（サテライトオフィ

ス）

神山町のまちとして移住者が増え続ける徳島県・神山町。百聞は一見にしかずと現地を訪ね、仕掛け人とも言えるNPO法

過疎のまちでありながら、アートのまちとして移住者が増え続ける徳島県・神山町。百聞は一見にしかずと現地を訪ね、仕掛け人とも言えるNPO法



▲古民家をオフィスに改修し、テレビ番組情報などを放送局に配信する東京本社の会社

地域ぐるみで 移住支援 (美波町)

（美波町）

美波町は、徳島県の東部に位置する人口約780人の農山漁村のまちです。NHK連続テレビ小説「ウエルカム」の舞台になりました。

平成23年8月、県主導で「とくしま集落再生プロジェクト」検討委員会を立ち上げ、ブロードバンド環境を生かした企業誘致の指導を受け、サテライトオフィス事業の展示を行っています。

その中の1人で地元出身の企業家が、空いていた町内施設に参入したのを皮切りに、関連企業など9社が現在進出しています。

美波町では、起業家の新しい働き方が芽生え、受け入れる側の住民も地域に溶け込みやすい環境・支援体制づくりを地域ぐるみで行っています。



▲古い銭湯をオフィスに改修

政の力だけでなく、グリーンバーーのような都市と農村をコーディネートする組織や体制の必要性を痛感しました。

その手法とは

②移住者を呼び込めない → 仕事をもつた移住者や起業者を逆指名する

③後継人材が育たない → 職業訓練、起業支援等による積極的な後継人材の育成ができる神山塾

まちづくりを住民と行っています。

また「四国の右下、一

CTふるさと村」村民会議を結成し、地域ぐるみでサテライトオフィスの定着と、専門的知識やネットワークを活用して全国に移住を呼びかけていま



▲オフィスには、地元特産品の情報発信や古い写真のデータ化を手掛けるベンチャー企業が入っています

産業厚生常任委員会

●調査事項

委員長 石堂 基



▲NPO法人いはく田舎暮らしネットワーク代表の山本さんからお話を伺いました

- 研修時の主な質疑**
- ・都市部や移住希望者への情報提供手段は
 - ・移住者相互の交流組織は
 - ・「森づくり」に賛同する企業数の変遷は
 - ・「木の駅」に対する町の支援は など

●調査内容

土佐町の取り組み

- ①土佐町 移住促進活動
団体「れいはく田舎暮らしネットワーク」の状況と企業連携による森づくり事業や「木の駅」を活用した林業振興について
- ②津野町 中学校廃校の木造校舎を活用した交流施設運営について

●調査目的

- ①土佐町 移住促進事業及び林業振興事業
②津野町 学校施設の地活用

●調査事項

土佐町の取り組み

平成18年に、高知県が提唱した移住促進事業への取り組みが契機となっています。移住者への一時的な住居として、空き家になった教員住宅や公営住宅の活用を行うとともに、移住者を相談員として活用するなど、積極的な取り組みを行っています。また、林業振興では都市部の企業と連携して、地域内の森林で協働の森づくりを行ったり、社会実験として平成23年度から開始した「木の駅」（未利用材集出荷施設）が順調に運営されています。

津野町の取り組み

津野町床鍋地域にある農村交流施設「森の巣箱」は、廃校からしばらく経過していた木造中学校校舎を、地域が主体となって整備を行い、宿泊も可能な施設として運営しています。

平成15年のオープンから10年以上が経過していますが、現在も順調に経営が行われ、施設内には地域住民の生活を支える集落コンビニや居酒屋などが設けられています。



研修時の主な質疑

- ・町内における廃校施設の活用事例は
- ・今後の課題は など

産業厚生常任委員会で

は、今回の調査成果を十分に検証して今後の活動を進めていきます。

◀廃校活用型交流拠点施設「森の巣箱」
(津野町)
地域で運営する集落コンビニ、浴場、宿泊施設、居酒屋

特別委員会報告

にしほりま環境
事務組合

台風9号災害 復旧・復興対策委員会

特別委員会
委員長 竹内日出夫
2月26日、光都土木事務所岩谷河川復興室長等を招き、委員会研修を実施しました。県の台風9号災害復旧事業の進捗状況について説明を受け、平福及び小赤松地域の現地視察を行いました。

▲小赤松橋の現場で説明を受ける委員

平成27年度一般会計予算額は4億8922万円で、斎場運営費や学校管理費が主なものです。

上水道事業会計予算は8億6414万円（支出）で、下水道事業会計予算は5億447万円（支出）です。

・教育委員 山本善治郎
氏（上郡町教育委員）
・監査委員 山本守一議員（上郡町議会議長）

播磨高原広域事務組合
組合議会議員 竹内日出夫
組合議会が2月19日に開会され、教育委員の同意、木戸口公園指定管理者の指定、平成26年度補正予算、平成27年度当初予算など10案件を審議し、すべて原案どおり同意・可決されました。

組合議会議員 小林裕和
2月17日、にしはりま
クリーンセンターにおいて、定例議会が開催され
ました。

正副議長選挙、監査委員の選任に続き、平成26年度補正予算、平成27年度当初予算を審議し、すべて原案のとおり選任・可決されました。

平成26年度補正予算額は1049万円を減額し、総額を7億5515万円に、平成27年度予算額は8億9758万円となりました。

議長
佐用町議会議長
副議長 岸本義明議員
(穴粟市議会議長)
監査委員 今川明議員
(たつの市議会議員)

組合議会議員 石堂 基
3月27日、西はりま消防組合(たつの市揖保川町)において、本年第1回の定例議会が開催されました。平成27年度西はりま消防組合一般会計当初予算は、条例改正について審議し、全ての議案が原案のとおり可決されました。

64年の歴史に幕 三土中学校閉校式（3月22日）

三十中學校事務組合會議會員 廣利一志

三土中学校閉校式が「ありがとう三土中学校」と題して開催され、卒業生から思い出の紹介や、三土中学校吹奏楽部と宍粟市吹奏楽団木管アンサンブルとの協演などの記念行事で式典を飾りました。

閉校記念事業実行委員会
「3691人の卒業生を送り
たが、両地区の絆は変わら
なかつた。学校を支えてく
れた住民の皆さんに感謝し
たい」とあいさつを述べ、
最後に歴代校長や地元住民、
卒業生等300人以上が見
守る中、中尾久幸校長が校
旗を返還し64年の歴史に幕
を下ろしました。



■平成26年度一般会計補正予算	今回の補正予算是、高機能指令センター整備事業の入札減に伴う減額が主な内容でした。	改正	この条例改正は、国民の権利保護に資する行政手続法の一部改正に伴うもので、行政指導の方式や処分等の求めに關して同法に準拠した制度となるように改正するものであります。
■個人情報保護条例の一 部改正	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語
この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語
この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語	この条例改正は、独立行政法人通則法の一部改 正に伴い、条項及び用語

平成27年度 第1回議会報告会のご案内

2月の議会報告会に続き、平成27年度第1回目の報告会を次の日程で行います。

今回は、13地域づくり協議会単位で開催しますので、ご近所お誘い合わせの上ふるってご参加ください。

なお、2月の報告会で出た意見や感想を本紙22・23ページに掲載していますのでご覧ください。

佐用町議会では、町民の皆さんに「開かれた・分かりやすい議会」をめざしています。報告会を通じて議会活動に関心を持っていただくとともに、皆さんの貴重なご意見をお聞かせください。

■日程表 ・主な内容 3月定例会の報告と意見交換 ・報告会は約2時間の予定です

開催月日	会 場	対象地域
5月 18(月) 午後7:30~	さよう文化情報センター	佐用地域づくり協議会
	久崎地区センター	久崎地域づくり協議会
19(火) 午後7:30~	長谷地域交流センター	長谷地域づくり協議会
	上月文化会館	上月地域づくり協議会
20(水) 午後7:30~	地域福祉センター	平福地域づくり協議会
	中安ふれあいセンター	中安地域づくり協議会
22(金) 午後7:30~	ゆう・あい・いしい	石井地域づくり協議会
	南光文化センター	徳久地域づくり協議会
23(土) 午後7:30~	ふれあいの郷みうち「若杉館」	海内地域づくり協議会
	三河ふれあいセンター	三河地域づくり協議会
24(日) 午後7:30~	江川地区文化センター	江川地域づくり協議会
	三日月文化センター	三日月地域づくり協議会
26(火) 午後7:30~	幕山地区センター	幕山地域づくり協議会

■出席議員と班編成 全議員が2班編成で出席します。

4月から統合したママ プラザで楽しそうに遊んでいたのは幕山地区の竹内寧音ちゃん(3歳)と弟の陸くん(6ヶ月)。

おおじどが大好きなお姉ちゃんは、保育園に行くもになつてから人前で物怖じしなくなり、おしゃべりが大好きに。また、最近では女の子のく、キラキラのアクセサリーが大好きになつてきた。弟が生まれてからはお姉ちゃん

でお世話をし、泣いているとすぐに飛んでやれる。まるであやしむれる。まるで小さなお母さんとのお世話をし、泣いているとすぐに飛んでやれる。まるで立場かい、逆に安心の側になり緊張もしました。この信頼もわれ議会にないために、むづむづ精進が必要です。

今年度は、本格的な地方創生へ向け、大きな足掛かりにしたいもの。挂かりにしたいもの。が必要です。



たけうち 陸くん 竹内 寧音ちゃん
(0歳6ヶ月) (3歳0ヶ月)

議会だよりでは笑顔いっぱいの子どもたちを紹介します

合併10年、戦後70年の節目の年です。平成27年度予算は、利神城跡の国指定に向けた調査費や思い切った子育て支援策、人口増に移住促進の委託料など、かなり明るい展望がうかがえます。

編集後記



議会だより編集部

委員長 岡本 安夫
副委員長 千種 和英
委員 岩本 安夫
委員 小林 加古原瑞樹
委員 廣利 裕和
委員 一志
委員 竹内 日出夫
委員 加古原瑞樹
委員 小林 裕和
委員 廣利 一志
委員 竹内 日出夫